

OTTAVA.TV を楽しむ(1) —OTTAVA TV に関する情報と試聴環境設定(1)—

1. 始めに

OTTAVA TV がウィーン国立歌劇場のライブ配信サービスを行うということを知って、今回いろいろな情報を入手し、試聴にチャレンジしてみました。

2. 情報入手源

まずは情報入手ということで下記を調べました。

ウィーン国立歌劇場配信サービスニュース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000029.000019311.html>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000137.000014158.html>

https://online.stereosound.co.jp/_ct/17268618

OTTAVA.TV サイト

<https://ottava.tv/>

<https://ottava.tv/howto.html>

<https://ottava.tv/faq.html>

上記の FAQ は、オーディオ資料室に [OTTAVA TV に関する FAQ](#) として転載しています。

初回はヴェルディのリゴレットということで、サイト上には次のような紹介があります。



視聴可能期間 5月10日(金) 01:30～5月13日(月) 01:30

好色なマントヴァ公爵に仕える道化師リゴレット。ある日自分の娘を凌辱されたモン

テローネ伯爵がマントヴァに詰め寄ると、リゴレットはそれを笑いものにする。モンテローネ伯爵は「父親の苦悩を笑うお前は、呪われよ」とリゴレットに言い捨てる。美しく清らかな娘、ジルダを愛するリゴレットはそれに恐怖を覚える。やがてこのジルダが教会でマントヴァに見初められてしまうことから悲劇が始まる…。ヴェルディの名前を一気に高めたこのオペラは名旋律に彩られている。マントヴァ公爵の歌うアリア「女心の歌」は、きっとどこかで1度は聴いたことがあるはず。ジルダのアリア「慕（した）わしき御名」の高度なアジリタの技巧と高音は聴きどころだらけの名曲。フランツ・リストの華麗なピアノ曲「リゴレット・パラフレーズ」の原曲となった4重唱「美しき恋の乙女よ」は、居酒屋にやってきたマントヴァが殺し屋スパラフチーレの娘、マッダレーナを口説き、マッダレーナも色っぽく誘うところを外から覗いてしまい、嘆き悲しむジルダ、そして復讐を誓うリゴレットの思惑が錯綜する名場面である。

2019年5月9日 25:30 より配信開始！

※リゴレットの無料視聴には OTTAVA への無料会員登録が必要です。

※視聴に際し、以下の点をご了承ください。

* 配信は上演開始 30 分前（前説）から行われますが、本編以外は字幕は入りません。

* 字幕の挿入はウィーン現地で実施しております。タイミングが合わない場合、抜けがある場合もあります。

見どころ

なんといっても「三大テノール」のひとり、プラシド・ドミンゴが主宰する若手歌手のためのコンクール「オペラリア」で第1位を獲得し、世界的に注目を集める存在となったアイダ・ガリツフリーナが演じるジルダに注目したい。コンクール優勝後、すぐにウィーン国立歌劇場に招かれてからというもの、同ホールの「顔」ともいえる存在になっている。輝かしい高音と華麗なアジリタと、表現力豊かな深く多彩な音色を兼ね備えた声はもちろん、誰もが魅了される美貌にも恵まれており、ライブストリーミングで彼女の歌唱と演技、そして美しさを存分に堪能して欲しい。タイトルロールを演じるクリストファー・モルトマンは歌曲でも評価の高いバリトン。美声と深く切り込む人物描写によってリゴレットの苦悩を鮮やかに描き出してくれるはず。

作曲 ヴェルディ

指揮 ジャンパオロ・マリア・ビサンティ

管弦楽 ウィーン国立歌劇場管弦楽団

演出 ピア・アウディ

舞台美術及び衣装 Hetzer, Christof

照明 Purkrabek, Bernd

脚色 Auer, Bettina

キャスト

マントヴァ公爵 ジョセフ・カレヤ

リゴレット クリストファー・モルトマン

ジルダ アイーダ・ガリフッリーナ

スパラフチーレ パク・ジョンミン

マッダレーナ ナディア・クラステヴァ

また、今後の配信予定作品（すべて日本時間）は次のとおりです。

5月10日（金） ヴェルディ:リゴレット（無料）

5月15日（水） ヴェルディ:マクベス

5月18日（土） ルグリ&プティパ:海賊（バレエ）

5月22日（水） ロッシーニ:セヴィリアの理髪師

5月26日（日） 開場150周年記念ガラ公演 リヒャルト・シュトラウス:影のない女

5月30日（木） アイネム:ダントンの死

6月10日（月） マスネ:マノン

6月21日（金） ヴェルディ:オテロ（新演出）

6月24日（月） プッチーニ:トスカ

6月30日（日） ヴェルディ:アイーダ（新演出）

以上の情報に基づき、まずは、初回の無料配信を鑑賞することにしました。

以上